

定住・移住対策について

本町の人口は、昭和30年の国勢調査以降、減少の一途をたどっており、昨年は残念ながら過疎地域の指定を受けることとなりました。

「定住人口対策プロジェクトチーム」を中心に、すべての事業を定住促進の視点から検証し、保育料の負担軽減、中・高校生のバス

通学に係る定期券購入助成、義務教育終了までの医療費助成、妊婦健診費用の助成など「教育、子育て、健康対策等」多くの施策に反映させましたが、今後さらに、住んでみたい町・住み続けたい町・子どもを安心して産み育てることができる町づくりに取り組みます。



町長がおじゃまします（まちづくり座談会）の様子

また、空き家の現状調査を行うとともに、U・I・Jターン希望者のニーズを把握し、住宅情報発信や雇用対策「新規就業者の町内製造業を中心とした町独自の施策」、住宅リフォームの支援をしていきます。

子育て支援・教育の充実について

教育の充実について

私は常々「まちづくりは人づくり 人づくりの根幹は教育の充実にある」と考え、教育を町づくりの重要なテーマとして掲げてきました。今年3月には『岩美町立みなみ保育所』が完成予定です。保育環境の整備が整い、今後は多様化する保育のニーズに応えていくよう支援していきます。

また小学校3年生までと中学校全学年での30人学級と各小中学校の特色ある学校づくり施策を引き続き実施していきます。



このほか、本町重要な生活基盤となる道路整備につきましては、国の公共事業費の大幅削減方針の中、

駒馳山バイパスについてはトンネル工事の着手も含め、早期開通に向け県等関係機関と一体となつて国に強く要望していきます。また、岩美インターチェンジと東浜・居組道路を結ぶ岩美道路につきましても事業促進に向け引き続き要望していきます。

本年は平成24年度から10年間の将来計画を策定する第9次総合計画策定の年です。町民の皆さまと行政のパートナーシップを一層強固なものとし、



「わがまちの宝」写真コンテスト入賞作品

とんど祈り